音声ガイド付きで新発売

自動式簡易トイレ　日本セイフティー

自動ラップ式のポータブルトイレに、音声ガイドが搭載された。

日本セイフティー㈱（東京都千代田区、西田伸一郎社長）は、自動ラップ式排泄処理ユニットを搭載したポータブルトイレ「ラップポン・アリオ」Ⅱ写真Ⅱを、6月30日に発売すると発表した。

自動ラップ式排泄処理ユニットは排泄物を、水を使わずに熱圧着によって1回毎に自動でラップ（個包装）する。

今回は、音声ガイドや処理時間の目安を表示した新機種を、従来の「ラップポン・エブリ」の後継機として発売する。

リモコンにはカウントダウン表示もされる。処理時間も「ラップポン・エブリ」の約120秒から約90秒へ短縮し、停電時に使えるように別売りのバッテリーも使用可能になった。

従来のエブリに比べ、耐荷重性能を維持しながら大きさも幅約9cm奥行約5cm、コンパクトになった。価格は、税別本体のみで9万2500円。

商品に関する問い合わせは、同社ラップポン事業部（☎0120-208-718）まで。

ベッドセンサー開発で提携

ミネベアミツミ、リコー

ベッドセンサーシステムの開発に向け、介護業界外の電子関連の専門大手が提携した。

ミネベアミツミ㈱（長野県北佐久郡御代田町、貝沼由久社長、以下「ミネベア」）と㈱リコー（東京都中央区、山下良則社長）は5月18日、生体情報をモニタリングするベッドセンサーシステムを事業化するため、共同事業開発契約を締結した。

ミネベアのセンサーモジュール技術と、リコーグループのシステム化技術などのノウハウが連携し、付加価値の高いベッドセンサーシステムを提供する。

介護市場向けに今年度製品化し、2020年度に事業規模30億円（日本国内介護施設のみ）を目指す。

同事業では、第1フェーズとして、介護市場で各種介護システムと連携し、高齢者を見守るためのプラットフォームを構築する。

第2フェーズでは、介護・医療市場において心拍に関する情報の提供を可能にするとともに、AI（人工知能）等の活用も検討する。

第3フェーズでは、介護・医療・育児・その他の市場において、各種センサーや位置測位の情報等も活用する統合型情報サービスプラットフォームへの拡張を視野に入れている。

この中の第1フェーズで開発する技術は、ベッド上の人の体重・体動・呼吸状態といった生体情報を、非接触・非侵襲（痛みや苦痛を伴わないこと）で高精度にモニタリングするシステムで、センサーを既存のベッドに後付けで設置もできる。

「介護現場での見守り（転倒・転落の安全対策）」、「同現場での呼吸状態の異常検知」、「体重等の計測・記録業務の負荷低減」が可能となる。

システムの内容に関する問い合わせは、ミネベアミツミ㈱（☎0120-288-435）まで。

「母・父の日」特別販売

認知症簡易判定キット　グローバルエンジニア

味覚の障害の有無で、認知症が簡易的にチェックできる。

㈱グローバルエンジニアリング（名古屋市、荒川健一社長）は、認知症と嗅覚の関係性に着目した簡易チェックキット「もの忘れアルかなチェックはからめ」Ⅱ写真Ⅱを数量限定で販売する。

「母の日、父の日キャンペーン」として、6月末まで同社オフィシャルサイト（http://hakarame.com/）で、半額以下のお試し特別価格（ペアセット4千円／単品2500円、税抜き）で提供している。

同製品は、認知症の発症リスクを早期の段階で簡単・気軽にセルフチェックできるキット。

使い方は、認知症に関係の深いニオイのカード10枚をこすり、どんなニオイを感じたかを選択肢制の解答用紙にチェックし、同封の返信用封筒で送付すると10日程で結果レポートが届く。

認知機能低下の傾向を早期に発見するためには定期的にチェックを行うことが望ましいが「いきなり病院はちょっと…」という場合に適している。

千葉県柏市が運用開始

情報共有クラウドシステム　カナミック

千葉県柏市はこのほど、「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」の一環として進めている「認知症初期集中支援チーム」における医療・介護連携について、㈱カナミックネットワーク（東京都渋谷区、山本拓真社長）のシステム利用を開始した。

「認知症初期集中支援チーム」は、認知症の早期診断・対応のため、市区町村が設置する医療・介護の専門職チーム。

柏市では今年1月に、看護師や介護福祉士で構成される「認知症初期集中支援チーム」を設置し、「カナミッククラウドサービス」Ⅱイメージ図Ⅱの導入を進めてきた。

同サービスの情報共有プラットフォームは、患者・要介護者一人ひとりについて、地方自治体や医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護職員・ケアマネジャー・介護職員など多職種の他法人が、パソコンやタブレット、スマートフォンなどの端末を使って、それぞれの業務に必要な情報をリアルタイムで共有できる。

バイタル情報や家族情報、カレンダー機能などの重要な情報を見やすくデザインし、繊細な情報も扱える共有先の選択機能や、伝え漏れを防ぐ関覧の確認機能など、円滑なコミュニケーションを実現するための細かな機能を備えている。

同システムの導入は、今年3月時点で自治体や医師会など477地域となっている。

同サービスに関する問い合わせは同社（☎03-5798-3925）まで。

介護用カーテンレール「トリーチェ」展示

新製品発表会　立川ブラインド

立川ブラインド工業㈱（東京都港区、立川光威社長）は、5月18日から8月8日まで、「2017年タチカワブラインド新製品発表会」を全国22都道府県24会場で開催している。

「+ONE～ナルホド！で見つかる理想の空間づくり～」をテーマに、おすすめ製品のそれぞれの特長や使用用途の展示、また提案の幅を広げられる販促ツールの紹介など「プラスワン」な情報を提案する。

介護施設向けには、フォルムがコンパクトなカーテンレール「トリーチェ」が展示されている。

「ホームタコス」（電動手引き操作の3つの操作方式におけるレールデザインが共通なため、使用環境や予算に合わせた使い分けが可能で、住宅の大きな窓や高窓、医療・福祉施設、学校などのカーテンの開閉に適している。

問い合わせ先は、次の通り。▽展示会の日程・会場等＝☎03・5484・6152）

▽商品に関する問い合わせ＝☎0120・937・958）。

手芸の藤久と提携、全国展開

レク介護士　スマイルカンパニー

「レクリエーション介護士」制度を手掛けるスマイル・プラスカンパニー（大阪市西区、伊藤一彦社長）は、「クラフトハートトーカイ」等の手芸専門販売店舗を展開する、藤久㈱（名古屋市、後藤薫徳社長）とともに、今年6月以降に「高齢者向けの手芸レクリエーションプログラム」を、一部地域から段階的に全国の介護施設へ展開する。

「レクリエーション介護士」は、介護や高齢者に対する基礎知識を学び、自分の趣味や特技を活かした介護レクリエーションを提供できる人財で、今年4月時点で同社が運営する資格講座の受講者は2万人。資格試験合格者は1万5千人を突破している。

藤久は、「レクリエーション介護士」資格を取得した従業員が、高齢者向けの手芸レクリエーションプログラムを開発し、全国467店舗の手芸専門販売店舗や豊富な手芸用品・コンテンツを活かして、各地の介護施設へ展開する。

スマイル・プラスは、「今回、藤久の手芸レクリエーションを当社のサービスのメニューに加えることで、サービスの利用時における幅が広がることにより、さらなる高齢者のQOL向上を目指す」等と述べている。

この件に関する問い合わせは、同社（☎03・5572・7334）まで。

「御入居者募集広告」のことなら
私たち専門家チームにお任せ下さい

17年の経験とお取引先270社の実績でお手伝いさせていただきます

連載企画メニュー　・読売新聞「高齢者の住まい通信」104回掲載・朝日新聞「高齢者ホーム見聞録」50回掲載
・東京新聞「高齢者の住まいナビ」96回掲載

日本シニアリビング新聞 広告取扱い

単独広告出稿、折込広告、パンフレット制作のご相談もお気軽にお問い合わせ下さい

いっしょにソリューション、いちずにセンセーション。
株式会社エスコミュニケーション
○設　立 1982年　○資本金 8,200万円
○社員数 28名

■東京オフィス　〒171-0014 東京都豊島区池袋2丁目14番2号 池袋2丁目ビルディング9階　☎03-3984-7391(代)
■大阪オフィス　〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-12-15 新大阪龍馬ビル501　☎06-6304-2575(代)
■名古屋オフィス　〒453-0016 愛知県名古屋市中村区竹橋町20-12-703　☎052-453-3121(代)